

就職活動中の学生、求職者の皆さんへ
働きやすい職場づくりに取り組む企業について
情報収集してみましょう！

男女共同参画
女性の活躍推進



積極的に取り組んでいる企業を紹介します

子育て支援
ワーク・ライフ・バランス



厚生労働省茨城労働局
茨 城 県

はじめに

就職活動中の皆さん、将来の進路や就職先について考えている学生の皆さん、どのような準備や情報収集をしていますか。

将来の仕事や就職先を考えるにあたっては、様々な視点で情報収集をしてみることが大切です。

近年の新卒や中途採用の採用状況、職種別雇用者数、女性の管理職への登用状況、育児休業利用率など雇用者の現状について企業研究を進めてみることも必要です。

また、自分の人生の中で仕事をどのように位置づけ、5年後、10年後どのように仕事に携わっていくか、結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事をどのように捉えていきたいかなど、自分のキャリアプランをしっかりと考えてみましょう。

「女性だから事務職」「技術職は男性向き」など固定的な考え方はやめて、自分の適性・キャリアプランなどを踏まえて、自分らしい職業選択と企業選択をしましょう。

茨城労働局雇用均等室では、女性の積極的登用など女性の活躍推進や、仕事と育児・介護が両立しやすい職場環境づくりについて企業への積極的な働きかけを行うとともに、労働者や求職者からの相談も受け付けています。

茨城県では、男女とも能力を活かして活躍できる男女共同参画社会に向けた意識啓発や、子育て支援などの働きやすい職場づくりを行う企業への支援、若い皆さんが将来のキャリアや生き方を描けるような教育、就職支援などを行っています。

このたび、茨城労働局と茨城県では、茨城県内の学生・求職者の方に、職場における男女共同参画、女性の活躍促進、子育て支援、ワーク・ライフ・バランスなど働きやすい職場づくりに取り組む茨城県内の企業を紹介する事例集を作成しました。企業研究をするにあたって、是非、参考としてください。

平成 25 年 10 月

厚生労働省 茨城労働局雇用均等室長 布川 裕子
茨城県知事公室 女性青少年課長 沼尻 憲
茨城県保健福祉部 子ども家庭課長 小澤 正哉
茨城県商工労働部 労働政策課長 川又 敏郎

目 次

- 1 職場における男女共同参画・子育て支援等に取り組む企業・・・P 1
- 2 茨城労働局表彰企業・茨城県表彰企業一覧・・・P 2～P 3
- 3 企業の取組事例・・・P 4～P23
- 4 働く上で知っておきたい情報
 - 妊娠・出産・育児に関する制度・・・P24
 - 茨城県の事業のご案内・・・P25
 - 相談窓口のご案内・・・P26

職場における男女共同参画・子育て支援等に取り組む企業

業種	企業名	所在地	くるみん認定	表彰(茨城県)	掲載ページ
製造業	キヤノンセミコンダクターエキップメント株式会社	坂東市		賞	4
	日鉄住金プラント株式会社	鹿嶋市		賞	5
	栗田アルミ工業株式会社	土浦市		賞	6
建設業	樋口土木株式会社	稲敷郡阿見町		賞	7
	株式会社クボタ総建	小美玉市		賞	7
卸売業・小売業	株式会社カスミ	つくば市		賞	8
	株式会社ケースホールディングス	水戸市		賞	9
	いばらきコープ生活協同組合	小美玉市		賞	10
	関彰商事株式会社	筑西市		賞	11
	有限会社モーハウス	つくば市		賞	12
	株式会社ナオイオート	取手市		賞	13
医療・福祉	社会福祉法人泰仁会	石岡市		賞	14
	公益財団法人筑波メディカルセンター	つくば市		賞	15
	フェネル保育園	水戸市		賞	15
	社会福祉法人征峯会ピアしらとり	筑西市		賞	16
	医療法人保内郷厚生会保内郷メディカルクリニック	久慈郡大子町		賞	17
金融業	株式会社筑波銀行	土浦市		賞	18
	株式会社常陽銀行	水戸市			19
サービス業	独立行政法人日本原子力研究開発機構	那珂郡東海村		賞	20
	独立行政法人物質・材料研究機構	つくば市			21
	アステラスリサーチテクノロジー株式会社	つくば市			22
	有限会社ワールド翻訳サービス	牛久市		賞	23

職場における男女共同参画とは？

男女共同参画社会とは、性別による固定的な役割分担意識を解消し、男性も女性も、意欲に応じて、職場や家庭や地域など社会のあらゆる分野で活躍できる社会です。

男女共同参画社会を実現するため、特に、職場では、女性の活躍を推進するためのポジティブ・アクション（女性の少ない職域における女性の採用拡大や女性管理職の登用など）、子育て支援、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に取り組むことが必要です。



くるみん認定企業とは？

「くるみん」は子育てにやさしい企業のシンボルマークです



認定マーク：くるみん

子育てと仕事を両立しやすい職場作りやワーク・ライフ・バランスに取り組み、その結果、女性の育児休業取得率が70%以上、男性の育児休業利用者がいることなどの成果を上げ、厚生労働大臣の認定を受けた企業です。

「均等・両立推進企業表彰」茨城労働局表彰企業一覧

◆均等推進企業部門（職場における女性の能力発揮を促進するための取組が進んでいる企業に対する表彰）

企業名	所在地	業種	表彰年度
株式会社タナカ	土浦市	印刷業	平成12年度
株式会社水戸京成百貨店	水戸市	小売業	平成14年度
関東鉄道株式会社	土浦市	運輸業	平成16年度
星光工業株式会社	取手市	製造業	平成20年度

◆ファミリー・フレンドリー企業部門（仕事と育児・介護との両立支援の取組が進んでいる企業に対する表彰）

企業名	所在地	業種	表彰年度
キャノン化成株式会社	つくば市	製造業	平成11年度
いばらきコープ生活協同組合	小美玉市	小売業	平成15年度
筑波コンピューターサービス株式会社	土浦市	情報サービス	平成17年度
社会福祉法人泰仁会	石岡市	医療・福祉	平成25年度

茨城県表彰企業一覧

◆茨城県ハーモニー功労賞（事業所の部）

企業名	所在地	業種	表彰年度
社会福祉法人泰仁会	石岡市	医療・福祉	平成21年度
株式会社セントフォローカンパニー	水戸市	サービス業	
医療法人保内郷厚生会 保内郷メディカルクリニック	久慈郡大子町	医療・福祉	平成22年度
キャノンセミコンダクターエキップメント株式会社	坂東市	製造業	
関彰商事株式会社	筑西市	卸売業、小売業	
株式会社カスミ	つくば市	卸売業、小売業	平成23年度
キャノンモールド株式会社	笠間市	製造業	
香陵住販株式会社	水戸市	不動産業	平成24年度
社会福祉法人征峯会 ピアしらとり	筑西市	医療・福祉	
有限会社ワールド翻訳サービス	牛久市	専門・技術サービス業	

◆茨城県子育て応援企業表彰（仕事と子育て両立支援部門）

賞名	企業名	所在地	業種	表彰年度
優秀賞	アサヒビール株式会社研究開発センター	守谷市	酒類の研究・開発	平成21年度
	アステラス製薬株式会社（県内6事業所）	県内6事業所	医薬品の製造販売及び輸出入	
	株式会社ケースホールディングス	水戸市	小売業	
奨励賞	独立行政法人産業技術総合研究所	つくば市	技術研究所	
	旭硝子株式会社鹿島工場	神栖市	製造業	
	いばらきコープ生活協同組合	小美玉市	生活協同組合	
	インターソシオシステム株式会社	ひたちなか市	受託ソフトウェア開発	
	医療法人仁愛会水海道厚生病院	常総市	病院	
優秀賞	有限会社ベルワン	ひたちなか市	サービス業	平成22年度
	有限会社まくらが	古河市	訪問介護サービス、介護タクシー事業	
	株式会社三谷バルブ茨城工場	猿島郡五霞町	製造業	
	いばらきコープ生活協同組合	小美玉市	生活協同組合	
	栗田アルミ工業株式会社	土浦市	輸送機器製造	
	住友化学株式会社 筑波研究所	つくば市	研究機関	
	社会福祉法人泰仁会	石岡市	老人福祉施設	
株式会社日立情報制御ソリューションズ	日立市	ソフトウェア業		

奨励賞	医療法人岩崎病院	水戸市	病院	平成22年度
	エーザイ株式会社 筑波研究所	つくば市	研究機関(医薬品の製造・販売)	
	京三電機株式会社	古河市	輸送用機器製造業	
	社会福祉法人慈永会	笠間市	老人福祉施設	
	社会福祉法人祥風会 特別養護老人ホーム憩いの里	土浦市	老人福祉施設	
	社会福祉法人聖朋会	かすみがうら市	福祉施設(保育・高齢者)	
	大和リース株式会社 水戸支店	水戸市	サービス業	
	株式会社内藤工務店	小美玉市	建設業	
	独立行政法人日本原子力研究開発機構	那珂郡東海村	その他事業	
	フジサクス株式会社	筑西市	一般労働者派遣業	
	社会福祉法人芳香会	古河市	福祉施設	
社会福祉法人愛の会	石岡市	福祉施設		
優秀賞	株式会社アイエスエフネット つくば営業所	つくば市	情報通信サービス業	平成23年度
	キャノン株式会社 取手事業所	取手市	電気機器開発製造業	
	国立大学法人筑波大学	つくば市	教育機関	
奨励賞	いばらきコープ生活協同組合	小美玉市	生活協同組合	平成23年度
	株式会社桐原工務店	東茨城郡城里町	建設業	
	医療法人博仁会	常陸大宮市	サービス業	
	有限会社ベルワン	ひたちなか市	サービス業	
	星田建設工業株式会社	つくば市	建設業	
美野里デリカ株式会社	小美玉市	食品製造業		
優秀賞	樋口土木株式会社	阿見町	建設業	平成24年度
	フェンネル保育園	水戸市	保育	
	株式会社クボタ総建	小美玉市	建設業	
奨励賞	いばらきコープ生活協同組合	小美玉市	生活協同組合	平成24年度
	公益財団法人筑波メディカルセンター	つくば市	医療保健業	
	株式会社ナオイオート	取手市	自動車販売・整備業	
	星田建設工業株式会社	つくば市	建設業	
	日本乳化剤株式会社鹿島工場	神栖市	製造業	
	医療法人社団善仁会小山記念病院	鹿嶋市	医療	
	医療法人社団筑波記念会	つくば市	医療福祉業	
	株式会社アトラス	水戸市	スポーツ施設の運営	
	イタリアン工房AFC Artigiano	古河市	飲食業	
	医療法人慈愛会秋葉産婦人科病院	古河市	医療	
株式会社富晃	つくば市	建設業		

『ハーモニー功労賞』表彰

茨城県女性青少年課では11月を男女共同参画推進月間と定めています。毎年、この月間中に男女共同参画のために先駆的な実績を残した個人、団体、事業所に対し「ハーモニー功労賞」を授与しています。

※詳しくは茨城県女性青少年課HPをご覧ください。
http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/danjo/hyousyou_harmony.html



平成24年度
ハーモニー功労賞
受賞者のみなさん

子育て応援企業表彰

茨城県子ども家庭課では、子育て支援に積極的に取り組み、顕著な成果をおさめた県内の企業を表彰しています。

(1) 仕事と子育て両立支援部門

育児・介護休業法を上回る育児休業制度が整備されているなど、社員の仕事と子育ての両立を支援し、子育てしながら働きやすい職場環境づくりに積極的な取組を行っている企業

(2) 子育て家庭応援部門

授乳コーナー等の施設整備や子育て家庭への優遇サービスなど、県民の子育てを支援するための積極的な取組を行っている企業

子育て応援宣言企業

子育て応援宣言企業とは、仕事と子育ての両立支援や地域の子育てを応援する取り組みについて「子育て応援宣言」として県に届出を行っている企業です。

※詳しくは結婚・子育てポータルサイトをご覧ください→



子育て応援宣言企業
シンボルマーク



キヤノンセミコンダクターエキップメント株式会社

代表取締役社長 大塚 博之

「自発」「自治」「自覚」という「三自の精神」が行動指針

ひとりひとりの能力を発揮でき、いきいきと働ける環境の実現を目指しています

会社概要

設立年月日：1917年5月

本社所在地：茨城県坂東市馬立1234

事業内容：半導体製造装置の開発・設計・製造

従業員数(2013.7.1現在)：416名

うち正社員404名(男性329名 女性75名)

平均勤続年数(正社員)：男性14.3年 女性19.0年

HPアドレス：<http://www.canon-semicon.co.jp>

受賞・認定等

2009年 「くるみん」認定

2010年度 茨城県ハーモニー功労賞

2013年 「くるみん」認定2回目



ひとりひとりの能力発揮のために いきいきと働ける環境づくり

★人材育成(全員が学べる風土確立)

820のスキルと4段階のスキルレベルに分類した「スキル管理」を基に能力の見える化を図り、計画的に年間81コースの研修を推進し、人材育成を強化しています。

★女性の平均勤続年数は男性より長い

育児休業制度の利用により継続勤務が定着し、女性の平均勤続年数が伸びています。

★「ノー残業デー」や充実した休暇制度

時間外労働の削減として、「ノー残業デー」の徹底などにより時間外労働の削減を進め、定時退社率が向上しています。年に1回、連続して5日の有給休暇を計画的に取る「フリーバカンス休暇」制度運用推進、最大40日までの傷病積立休暇制度について、同居する家族又は扶養する親族の看護のためにも取得できる制度とし利用も定着しています。

★社員食堂でおいしい食事

当社の社員食堂はおいしく・やすく・バリエーション豊富。日替定食がなんと260円で食べられお財布にやさしい価格設定。また、おかずの種類も豊富なので栄養のバランスを考えながら食事できます。

子育てにやさしい企業をめざして

★全社員で取り組む子育て支援

2005年から働き方の見直しを図り、ワーク・ライフ・バランスの支援に向けた取り組みを推進しています。社員の意見を取り入れるため全従業員を対象としたアンケート、管理職研修を実施するなど、子育て支援について会社全体で取り組みました。

★子どもが3歳に達するまでの育児休業、小学校3年生修了までの育児短時間勤務を整備

育児休業や育児短時間勤務(1日30分単位で最大2時間まで短縮できる制度)が法定を上回る期間利用できる制度としたことで、社員のニーズに合わせた利用が定着しました。女性の育児休業取得率と育児短時間勤務の利用率は100%です(過去4年間の育児休業取得者10名)。

★男性の育児休業取得は4名

最長で、3カ月の育児休業を取得した者もいます。

★各種相談窓口充実(ひとりで悩まない)

ハラスメントや妊娠・出産や介護等健康支援に関する相談窓口が整備されています。

★育児休業復職者へのソフトランニングケア制度

育児休業復職者への健康相談等実施(保健師・カウンセラーによるメンタルケアを、復職日および復職後1カ月、3ヶ月後に実施しています)。

〈男性育休取得経験者からのメッセージ〉



課長代理 山嶋 伸夫さん

家族と接する時間は非常に充実し妻も喜んでいました。

生まれたばかりは妻が赤ちゃんの世話に付きっきりになりがちでしたが、私が上の二人の子のケアをすることで上の子たちも安心したようです。可能であればもっと長く

取得してもよかったかなと思いました。後輩たちにもぜひ育児休業取得を勧めたいと思います。

〈現在育児休業中の女性社員からのメッセージ〉



廣瀬 友里さん

育児休業を取得して半年になります。育児支援制度を利用する職場風土があり、取って当たり前の環境なので、迷いなく申請ができました。3歳に達するまでの育児休業、小学校3年生修了までの育児短時間勤務の制度があるので、自分のニーズに合わせた利用ができ、仕事と家庭の両立ができるので嬉しく思います。

男性が多い職場に女性の活躍の場を広げ、子育て支援にも取り組みます

会社概要

設立年月日:1972年2月

所在地:茨城県鹿嶋市光3

事業内容:機械・電気・計装・コンピュータ・土木建築の各専門分野におけるメンテナンスとエンジニアリング

従業員数(2013.7.1現在):953名

うち正社員835名(男性799名 女性36名)

平均勤続年数(正社員):男性18.2年 女性14.7年

受賞・認定等

2012年 「くるみん」認定

2008年度 茨城県子育て応援企業表彰(奨励賞)



女性の活躍促進のために

★現場作業での女性社員の積極的採用

従業員の女性比率は全体の4%、しかも事務系の職種のみで、現場作業者に女性の配置がなかったことから、トップの方針として現場作業者としての女性求人活動を積極的に行いました。その結果、2013年4月、弊社創業以来初めて高卒女性2名を現場作業者として採用しました。



現場で働く女性社員



男性と一緒に研修を受ける女性社員

子育てにやさしい企業をめざして

★2012年に「くるみん」認定を取得

有給休暇取得奨励日の設定、連続有給休暇取得の奨励、ノー残業デー制度を導入するなど、『子育てにやさしい会社』への環境づくりを推進、仕事と家庭の両立についての意識啓発などに取り組んだ結果、「くるみん」認定を受けました。

★女性の育児休業取得率は100%、男性の育児休業取得者2名

これまでに女性の育児休業取得者は11名で100%の取得率を達成しています。

また、男性の育児休業取得者も2012年度に1名44日間、2013年度も1名76日間の育児休業を取得しました。

★子育て支援制度の整備

- 特別福祉休暇制度(失効有給休暇を子の看護や保育所等の行事への参加、保育所入所までの休暇として取得できる制度)
- ベビー用品の購入、保育料等の支援
- 出産祝金、遺族・遺児年金制度
- 連続有給休暇取得制度(休日含め連続9日間)

〈育児中の採用担当者からのメッセージ〉



労務グループ 採用担当
宮本 晃子さん

弊社では、育児休業の取得はもちろん、対象者にはマタニティウェアを貸与(2000年導入)するなど様々な制度が整えられています。私も4歳の息子がおり保育園入園が決まるまで、育児休業期間を延長していただきました。

現在採用業務を担当しておりますが、学生さんに対して自身の実体験を交えながら出産・育児と仕事の両立に関する弊社の制度について、いつも自信を持って説明しています。

〈3人の子を育児中の女性社員からのメッセージ〉



鹿島第二システムグループ
大平 由紀さん

私は3人の子供がおります。3人目の3度目の育児休業取得にはさすがに心苦しく、一時は退職も考えましたが、上司に相談すると、育児休業は当然の権利だとして休業の取得とその後の職場復帰を後押しして下さいました。社内には他にも

仕事と育児を両立している女性の方も多く、また学校・保育園行事や子供の具合が悪い時なども、上司の理解もあって休みを取得しやすいので、このような良い環境で働けることに感謝しています。

社員と家族の幸せを願う経営理念で
男性も女性も高齢者も障害者もいきいき活躍できる会社



会社概要

設立年月日: 1957年5月
本社所在地: 茨城県土浦市北神立町4-5
事業内容: 自動車アルミ部品鋳造・切削加工業
従業員数: 223人(2013.4末現在)
(男性161人 女性62人)
HPアドレス: <http://www.kurita-al.co.jp>

受賞・認定等

2010年度 茨城県子育て応援企業表彰
2013年 ダイバーシティ経営企業100選



女性がいきいきと働ける 職場づくりをめざして

★就業規則の全面改訂

- ・従業員の様々なライフスタイルに応じた柔軟な働き方の実現のため、平成20年にプロジェクトを組んで就業規則を全面改定しました。
- ・就業規則に社長直筆の署名・捺印があります。

★女性の職域拡大

- ・一般的には男性中心とされる製造の現場でも女性が多く活躍しています。

★パワハラ・セクハラ防止対策

- ・就業規則にパワハラ・セクハラにあたる行為を具体的に明示し防止しています。
- ・総務部に相談窓口を設置しています。

★積極的な障害者・高齢者・外国人雇用

- ・男女はもとより、障害者、高齢者、外国人も積極的に雇用し、それぞれの強みを活かして活躍しています。



子育てにやさしい企業をめざして

★法定を超える育児支援制度

小学校就学前までの育児短時間勤務制度・就業時間の変更・所定外労働の免除制度など、法定を超える育児支援制度を整えています。

★利用しやすい制度

産前産後休暇や育児休業・介護休業などのいくつかの制度について、就業規則の別冊を設け、休業の申請方法から復職後までの流れを分かりやすくするなど、制度の使いやすさにも考慮しています。

★過去5年間の制度利用率など

- ・女性の育児休業取得率 100% 6名
- ・育児短時間勤務利用率 100% 6名
- ・2013年9月現在育児休業者 1名



〈社長からのメッセージ〉



代表取締役社長
栗田 壮浩さん

当社は、社是である「元気」・「やる気」・「根気」で、何事もうまく行くまであきらめないでやり続けることを基本に『ダイバーシティ経営』を推進するために、いろいろな仕組みを整えて、国籍、年齢、性別に関係なく、多様な人財一人ひとりの能力が発揮できる、生きがい、働きがいを感じる職場づくりを目指します。

当社は、社是である「元気」・「やる気」・「根気」で、何事もうまく行くまであきらめないでやり続けることを基本に『ダイバーシティ経営』を推進するために、いろいろな仕組みを整えて、国籍、年齢、性別に関係なく、多様な人財一人ひとりの能力が発揮できる、生きがい、働きがいを感じる職場づくりを目指します。

〈育児中の女性社員からのメッセージ〉



櫻井 晴美さん

平成10年3月入社、6歳と3歳の子供を子育て中です。主人と共働きですが、嫁ぎ先のご両親の理解と育児制度を利用して就業時間を8:30~17:30(うち休憩時間1時間)に変更していただき、保育園へ入園。職場復帰をすることができました。

入社してしばらくは機械加工の現場に勤務し、その後生産の効率化推進を業とする映像処理、分析など専門部署を担当し、現在は営業部で新たな目標にチャレンジしています。

樋口土木株式会社

代表取締役 高橋 正男

仕事と子育ての両立がしやすいように、本人の希望を出来る限り尊重した柔軟な対応をします！

会社概要

設立年月日：1989年6月
本社所在地：稲敷郡阿見町住吉二丁目3番地19
事業内容：建設業
従業員数(2013.7.1現在)：38名
うち正社員35名(男性30名、女性5名)

平均勤続年数(正社員)：男性15年 女性12年
HPアドレス：<http://www.higuchi-doboku.co.jp/>

受賞・認定等

*子育て応援宣言登録企業
2007年度 茨城県子育て応援企業表彰(奨励賞)
2012年度 茨城県子育て応援企業表彰(優秀賞)

子育てにやさしい企業をめざして

★子育て支援メニューを拡充

- 子どもが5歳になるまで5回を上限に育児休業、育児短時間勤務制度
- 話し合いによる時差出勤の承認
- 子どもの授業参観や予防接種などの際に、1日の休憩時間にプラス1時間を育児休暇として使用できる
- 子どもの看護休暇は話し合いにより必要日数を付与する

★育児休業制度及び育児短時間勤務の利用が定着

- 話し合いによる時差出勤の利用者数 3名(取得率25%)
- 話し合いによる子の看護休暇の利用者数 4名(取得率80%)

〈人事担当者からのメッセージ〉



人事担当者 岸 竜次さん

休暇の申し出があった時、作業に支障をきたさないようフォローが出来る体制をとっております。女性だけではなく男性も育児休業を取りやすい環境作りを、これからも継続していきたいと思っております。

〈育児休業制度を利用した男性職員からのメッセージ〉



工事部 関田 博之さん

子供の運動会観戦のため、育児休業制度を利用しました。忙しく人手が足りない時期でしたが、社内で調整していただき育児休業を取ることが出来ました。小学生時代最後の運動会での姿を見る事ができ、本当に嬉しく思いました。

株式会社クボタ総建

代表取締役 久保田 敏夫

社員で仕事と家庭の両立の出来る働きやすい環境づくりを目指しています！

会社概要

設立年月日：1989年4月17日
本社所在地：小美玉市羽鳥2607番地2
事業内容：特定建設業、土木一式工事、建築一式工事
従業員数(2013.7.1現在)：10名
うち正社員10名(男性8名、女性2名)

平均勤続年数(正社員)：男性15年 女性15年

受賞・認定等

*子育て応援宣言企業
2012年度 茨城県子育て応援企業表彰(優秀賞)

子育てにやさしい企業をめざして

★子育て支援メニューを拡充

- 中学生未満の子どもの学校行事等に参加するための特別有給休暇
- 子どもが15歳になるまで育児短時間勤務、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ、フレックスタイム制勤務
- 家族旅行・リフレッシュ休暇の推奨(通常の年次有給休暇にプラスして付与)
- 中学校卒業まで子の看護休暇

★過去3年間における各制度の利用者数

- 育児短時間勤務 5人(取得率約38.5%)
- 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ 5人(取得率約38.5%)
- 子の看護休暇制度 5人(取得率約38.5%)

〈役員からのメッセージ〉



取締役 久保田正子さん

子育てのしやすい環境づくりを心がけ、社員で話し合いながら働きやすい職場づくりを目指し子供の成長を見守る様に協力しております。

〈育児中の女性社員からのメッセージ〉



事務職 須藤 真紀さん

子供の学校行事等の休みを理解して頂いているので心良く休みを頂ける会社です。その他にも子供に対して色々と良くして頂いて子供自身が親の職場を気にしております。

子育て中の方を応援します！

男性も女性も 職場でも家庭でも いきいきできる環境づくりを進めています

会社概要

設立年月日：1961年6月
本社所在地：茨城県つくば市西大橋599-1
事業内容：スーパーマーケット
従業員数(2013.7.1現在)：13,000名
うち正社員1,950名(男性1,520名 女性430名)
平均勤続年数(正社員)：男性15年 女性10年
HPアドレス：<http://www.kasumi.co.jp>

受賞・認定等

2007年 「くるみん」認定(県内第1号)
2007年度 茨城県子育て応援企業表彰(優秀賞)
2011年度 茨城県ハーモニー功労賞
2012年 「くるみん」認定(2回目)



従業員の8割は女性です いきいきと働ける職場づくりをめざして

★2007年「女性かがやき委員会」を設置

2007年度より「女性の活性化」を重要課題とし、社長を委員長とする「女性かがやき委員会」をスタートさせました。

女性管理職の登用を目指したセミナーを開催するなどの取組を進めています。

★女性の職域拡大、管理職登用

店舗鮮魚部門、店舗のチーフ、バイヤー(商品の仕入れ・開発)など、男性中心だった分野に女性の活躍の場が広がっています。

また、現在、部長2名 店長4名 次長5名 担当Mgr4名の方が活躍しています。

★「キャリアライセンス制度」の利用

妊娠・出産・育児・家族の介護のために退職した場合、10年以内に復職すれば退職時の雇用身分で復職できます。

○女性の登録者13名 利用実績2名

子育てにやさしい企業をめざして

★県内第1号の「くるみん」認定を取得

2005年から、男性の育児休業取得促進など認定を目指した取組を開始し、2007年に県内初の認定、2012年に2回目の認定を受けました。

★子育て支援メニューを拡充

○子どもが小学校就学前までの育児短時間勤務制度・所定外労働の免除制度 ○有給の看護休暇制度 ○配偶者出産休暇 ○3連続休暇・7連続休暇制度、アニバーサリー休暇制度 など

★育児休業制度及び育児短時間勤務の利用が定着、イクメンが増加

○育児休業利用者数(過去3年間)
女性91名(取得率94.5%) 男性5名
○育児短時間勤務の利用者数(過去3年間)
女性43名

〈管理職からのメッセージ〉



人事総務部 労務・採用担当 Mgr
染谷 忠彦さん

カスミでは、子育てにやさしい企業として、2007年にくるみんマークを取得し、2012年に2回目の取得をしました。現在カスミでは、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業としていろいろな制度や取組を実施しています。その中でも、

カスミでは従業員の約8割は女性です。女性が結婚・出産・育児をしても継続して働ける企業にしていきたいと、会社全体で取組を推進しています。また、男性でも育児休業が取得できるように環境を整備して取得促進をすすめています。カスミでは、この他にも育児短時間勤務制度、介護短時間勤務制度、キャリアライセンス制度等を設けており、女性が働きやすい職場をつくっています。これからも職場でも家庭でも、いきいきできる環境づくりに努めてまいります。

〈男性チーフが育児休業を取得〉



精肉加工センター管理チーフ
枝川 哲さん

カスミでは、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として、いろいろな制度があります。今回、私は男性の育児休業を取得しましたが、取得する前は、職場の方やお店の方に迷惑をかけてしまうということが心配で、自分から休業を取得しようとは考えていませんでした。しかし、上司からの勧めや、まわりの方の理解や応援があり取得することができました。子供と一緒に過ごす時間も少なく、育児で疲れた表情をしていた妻に少しでも出来ることをしてあげたかったですし、せっかくある制度を私が利用することで今後、多くの方が取得しやすくなればいいと思い、取得を決めました。実際にできたことは、数少ないですが、おむつ交換やお風呂、ミルクをあげたり(泣かれてしまい・・断念しましたが・・)また、買い物、掃除、洗濯、料理等をお手伝いし、妻には助かったと喜ばれました。特に子供の成長が見られたのが親としての感動でした。

他の方にも、ぜひ取得していただけるように、自分の経験を広めたいと思いますし、これからも取得しやすい会社になるように環境整備を推進したいと思います。この他にも連続休暇制度やアニバーサリー休暇制度がありますので、いろいろな制度を利用して、家庭と仕事を両立したいと思います。

株式会社ケースホールディングス

代表取締役社長 遠藤 裕之

従業員を「人財」と位置づけ、経験や年齢や性別にとらわれず
意欲的に仕事をし能力を発揮している人財を積極的に登用しています

会社概要

設立年月日:1980年9月22日
本社所在地:茨城県水戸市桜川1-1-1
事業内容:家庭電化製品並びに関連商品の
販売及び付帯工事
従業員数(2013.7.1現在):4,107名
うち正社員2,204名(男性1,965名 女性239名)
HPアドレス: <http://www.ksdenki.com>



受賞・認定等

2007年 「くるみん」認定
2009年度 茨城県子育て応援企業表彰(優秀賞)
2012年 「くるみん」認定(2回目)
2013年 「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞
実行委員長賞

社員 = 「人財」 の能力発揮のために

★自己申告制度や公正な評価制度を整備

社員を経営における最大の財産ととらえ、社員一人ひとりの意欲や能力が発揮できるように各種制度を整備しています。

担当したい業務や目標、希望の勤務地など、今後のキャリアアップについての考え方を申告する自己申告制度を実施しています。

★女性管理職の登用

・店長・副店長・課長代理クラス 5名
・部門長・係長クラス 22名

★女性の総合職採用

新卒採用においても女性総合職の採用を積極的に行っており、女性の活躍の場も広がっています。

★柔軟な勤務シフトで人材確保

1年単位の変形労働時間制を導入しています。業務の繁閑に合わせて、柔軟に勤務シフトを作成しています。

子育てにやさしい企業をめざして

★「くるみん」認定を2回取得

1回目の認定(2007年)は家電業界では初めての認定を取得、2回目の認定(2012年)は茨城県内では最初に取得しました。

★育児休業は子どもが3歳に達するまで、その他の子育て支援制度も拡充

- 小学校6年生になる前までの育児短時間勤務制度
- 小学校就学前までの所定外労働の免除制度など

★男性の育児参加を促進、男性の育児休業取得は6名

男性に子育てへの関心・興味を持ってもらうため、講演会の開催、社内報での啓発、ポスターの配布など様々な取組を行った結果、育児休業を取得する男性が増えています。

★女性の育児短時間勤務の利用が増加

女性の育児休業取得率は100%、復職後は育児短時間勤務の利用者が増えています。

- 過去3年間の利用者数
育児休業 67名 育児短時間勤務 45名

〈女性管理職からのメッセージ〉



那珂店 店長
保村 美也子さん

私は今年で入社20年目になります。こんなに長く勤務ができ、かつ女性の私が店長になれたのは、年齢や性別に関係なく、色々な事にチャレンジをさせてくれ、サポートもしっかりしてくれる職場環境があったからです。

私も会社の理念に重きを置き、一緒に働く仲間を大切にしています。その結果、多くの人に支えられ、店長という大任を務める事が出来ていると思っています。今思う事は、本当に幸せに仕事ができ、ケースデンキに入社して良かったという事です。

〈育児中の女性労働者からのメッセージ〉



人事部 係長
小池 千鶴子さん

育児短時間勤務制度を利用して勤務しています。仕事をし、育児・家事もするという生活は慌ただしく、1日が24時間では足りないくらいですが、ケースホールディングスでは子供が小学校6年生になる前まで短時間勤務が可能な制度があるので安心できます。会社が育児支援に積極的なので、職場の同僚からの理解もあり、多くの方々の支えを頂きながら充実した日々を過ごしています。

感謝すると共に、私も後輩の皆さんを応援したいと思っています!

いばらきコープ生活協同組合

代表理事 理事長 佐藤 洋一



いばらきコープ

男性も女性も職員一人一人が家庭や職場・地域の中で対等に参画でき、
能力が発揮できる職場づくりに取り組んでいます

会社概要

設立年月日：1971年10月
本社所在地：茨城県小美玉市西郷地1703
事業内容：コープ商品の小売、宅配、共済、福祉等
従業員数(2013.3.10現在)：1,429名
うち正社員391名(男性338名 女性53名)
平均勤続年数(正社員)：男性19年 女性9年
HPアドレス：<http://ibaraki.coopnet.or.jp>

採用に関するお問い合わせメールアドレス
saiyou_ibaraki@coopnet.or.jp

受賞・認定等

茨城県子育て応援企業表彰(優秀賞：2010年)
(奨励賞：2007・2009・2011・2012年)
2009年 「くるみん」認定



男女共同平等参画推進アクション プログラムに基づく取組

2005年に策定した「男女共同平等参画アクションプログラム」において、男女問わず能力発揮できる環境整備の推進を重要課題として位置づけ目標値を定めて取り組んでいます。

★女性正規職員比率の向上

2007年以降、新卒正規社員の採用について、女性を半数以上採用する方針で選考しています。その結果、2012年度には女性比率が13.5%まで上昇しています。

○2013年4月採用実績 男性2名 女性2名



〈育児休業取得者からのメッセージ〉



コープデリ水戸センター
大内 雅子さん

育児休業中は他のお母さんたちとの交流があり、その中で生協は働きやすい職場だと改めて思いました。生協の制度はあたりまえのものだと思っていたのですが、結婚したら、妊娠したら、仕事をやめる女性も多いのです。配達先の小さなお子さんも出産後はいろいろ気になります。結婚や出産したことを、今の業務に活かせるように、まわりの協力を得ながら仕事を続けたいと思います。

子育てにやさしい企業をめざして

★女性の育児休業取得率は100%

男性の育児休業者は5名(延人数)

男性の育児休業取得促進などの取組の成果を上げ、2009年「くるみん」認定、2007～2012年度「茨城県子育て応援企業表彰」を受賞しています。

★子どもが3歳に達するまでの育児休業、小学校3年生までの育児短時間勤務制度を整備

保育園に入所できない場合など、育児休業期間を1歳を超えて延長する職員もいます。

復職率は100%、復職後は、育児短時間勤務を利用する者が増えています(2013年7月12日現在、育児短時間勤務利用者 8名)。

また、育児休業者復帰支援サービス(育児休業中のオンライン講座や職場復帰プログラムの提供)の登録・利用を促しています。

★「子ども参観日」を定期的を実施

夏休みを利用して、職員のお子さんが職場体験しています。

〈子ども参観日参加者感想〉

ぼくはこの参観日で分かったことが1つあります。はい達がいかに大変であるかを分かりました。ぼくの母はいつも家に帰ってくるとくたくたです。なぜくたくたなのかが、今日はい達をけいけんしたら分かりました。ぼくの母はいつも笑顔で組合員さんに荷物を運んでいるのに、ぼくはたった1日でもうたくたです。母はいつもこんなにくたくたとは思っていませんでした。この1日はぼくにとって、とてもいい日になりました。(小5)

社員一人ひとりが輝けるステージを整えています

社員が「安心して働くことのできる職場づくり」を進めています

会社概要

設立年月日:1938年1月

本社所在地:茨城県筑西市一本松1755-2

事業内容:総合商社

従業員数(2013.7.1現在):474人(1,638人)

うち正社員412人(男性353人 女性59人)

(1,405人(男性1,170人 女性235人))

平均勤続年数(正社員):男性18年 女性14年

(男性15年 女性 7年)

()内セキショウグループ全体

HPアドレス: <http://www.sekisho/co.jp>

受賞・認定等

2009年 「くるみん」認定

2010年度 茨城県ハーモニー功労賞



男女が能力を発揮して活躍できる職場づくり

★キャリアアップに向けた社員への支援

○資格取得

全社員が自己のスキルアップに積極的になれるよう「免許取得奨励制度」を設け、会社で定めている資格や免許を取得すると、最大20万円まで奨励金が支給されます。

○通信教育

業務に関連する講座に対して、修了すると受講料の半額が「自己啓発助成金」として援助されます。

★女性総合職の積極的採用

新卒の女性の応募も多く、積極的に採用しています。

○採用実績 (セキショウグループ全体)

2012年4月採用30名(内女性12名)

2013年4月採用53名(内女性22名)

★女性の職域拡大、管理職登用

女性の活躍の場が広がり、女性の平均勤続年数も伸びており、営業職などへの女性の職域拡大や女性の管理職登用にも積極的に取り組んでいます。

○女性の管理職(参事以上) 6名

子育てにやさしい企業をめざして

★社員の意見を活かした子育て支援

「くるみん」取得を目指すことを社内に周知した上で、育児休業者や育児経験者のメンバーが中心となり意見交換を行うことで、社員の意見を活かした取組を進めることができました。

その結果、管理職の理解が高まり、女性の育児休業取得率は100%(これまでの取得者は28名)、2009年に男性が2週間の育児休業を取得するなどの成果を上げ、2009年「くるみん」認定を受けています。

★育児短時間勤務制度の整備

育児休業後に安心して職場復帰できるよう「育児短時間勤務制度」を小学校就学前まで取得できるようにしました。また、所定労働時間は「5時間」又は「6時間」とし、勤務時間帯を各々3パターン設定したことで、個人のライフスタイルに合わせた働き方ができるようになりました。

〈役員からのメッセージ〉



執行役員 人事部長
小島 守さん

当社では、社員が生き生きと働けるよう「やりがい・働きがいのある職場づくり」に取り組んでいます。

社員が仕事と家庭のバランスを取り安心して働ける、そんな支援を心がけています。

世の中は男女がおおむね半数ずつ、必然的に当社のお客さまも半数が女性となります。しかし、当社の社員はまだ男性が大多数です。女性の視点、女性の感性が各部門で求められています。女性が安心して活躍できる環境を整えるよう更に努力してまいります。

〈子育て中の女性労働者からのメッセージ〉



主任 鯉沼 美代子さん

私は、関彰商事グループ会社である輸入車の正規ディーラー『MINI 水戸』で営業を担当しています。

現在5歳の娘がおりますが、出産後は、一年間の育児休業を頂き、その後、『育児短時間勤務制度』を利用して職場復帰をしました。復帰後も、短時間勤務制度を利用することで、うまく子育てと仕事を両立していくことができました。しかし、どんなに良い制度があっても職場での理解無しには仕事を続けることはできません。フォローしていただける環境があったからこそ仕事を続けていくことができた実感しています。今後も安心して働ける職場や環境を整えていくことで、女性がますます活躍できる場が広がっていければと思います。

「子連れスタイル」という新しいワークスタイルを实践 社内にとどまらず社会の子育てママや働くママを応援

会社概要

設立年月日:2002年11月
本社所在地:茨城県つくば市梅園2-17-4
事業内容:授乳服製作・販売、イベント企画
従業員数:45人(2013.7末現在)
(男性0人 女性45人)
HPアドレス:<http://www.mo-house.net/>

受賞・認定等

2007年度 茨城県ハーモニー功労賞
2008年度 茨城県子育て応援企業表彰
2009年 内閣府「女性のチャレンジ賞」
2009年 第8回「女性起業家大賞・優秀賞」
2010年 グッドデザイン賞
2010年度 茨城県子育て応援企業表彰

女性の「働きたい」に答える 職場づくり

★子連れ出勤を認める就業規則

就業規則に「当社は子供を連れて出勤し、職場においても子供を託児所等に預けることなく、職場内で親と一緒に過ごすことを認めています」と明記しています。

★子育て中の女性の「働きたい」に答える

- ・育児休業で長期に休むのではなく、働き方のサイズを変え、「子連れでいいなら早めに働きたい」という本音に答える子連れ出勤スタイルを実践しています。
- ・10年で約200人ものスタッフが子連れ出勤を経験しています。

★主婦の子連れインターン受け入れを実施

- ・中小企業庁と全国中小企業団体中央会が派遣会社パソナ等の協力を得て推進する「中小企業新戦力発掘プロジェクト」の一環として、主婦インターンを受け入れました。
- ・2013年9月10月の2ヶ月、「働く」シーンに子供を連れてはいるコツやマナーを学んだ後、事務作業を始め、店舗での接客を体験する“子連れインターン”を実施しました。

社内だけでなく社会の子育てママ を応援

★授乳服の製作・販売で行動範囲を拡大

どこでも気兼ねなく授乳できる授乳服を普及させ、授乳中の女性でも外出したり、仕事をしたりできるライフスタイルを提案。子育てママの行動範囲の拡大に貢献しています。

★子連れスタイルを社会にも発信

授乳服や子連れ出勤のスタイルを社会にも発信し、大きな反響を呼び、社会への問題提起となっています。



〈社長からのメッセージ〉



代表取締役
光畑 由佳さん

電車の中での授乳という苦い経験を元に授乳服の制作・販売を行なうモーハウスをスタートしました。創業当初は私自身が小さい子供の子育て中だったので、自然に赤ちゃんを連れ、授乳をしながら仕事をしていました。その経験から、子育てはスキルであり、しっかりとした戦力であると認識し、授乳中の女性を採用。子育てと両立できる働き方をスタッフと共に模索、実践していくことで、女性が自由に生きられる手伝いをできたらと思っています。

〈子連れ出勤実践中の社員からのメッセージ〉



広報チーム
稲場 香絵さん

現在1歳の4人目の子と子連れ出勤を実践中です。3人目出産後、より良い住環境、教育環境を捜し求め、のびのびした育児や生活を楽しみたいと茨城県つくば市に移り住みました。転居後、4人目の妊娠を機に、赤ちゃん連れで働けるこのオフィスを知って、仕事と家庭、子育てを自分なりのバランスで充実させたいと子連れスタッフになりました。7年間の専業主婦を経ての復職は不安が多かったのですが、現在は広報チームで、子連れで取材をこなし、授乳服を着て、授乳してみせることができる自分ならではの役割に充実した毎日を過ごしています。

子育てと仕事の両立ができるように応援しています！

会社概要

設立年月日：1977年6月23日
 本社所在地：取手市桑原680-1
 事業内容：自動車の販売、整備、修理、钣金
 従業員数(2013.7.1現在)：289名
 うち正社員222名(男性200名、女性22名)

平均勤続年数(正社員)：男性6年 女性7年
受賞・認定等
 2012年 茨城県子育て応援企業表彰(奨励賞)

子育てにやさしい企業をめざして

★子育て家庭を応援

- 来店のお子様へ、『子ども免許証』無料で発行。車の車検・修理の工賃5% 割引、部品5% 割引、钣金塗装工賃より20% 割引、代車無料サービス
- 授乳コーナーの設置子どもが遊ぶコーナーに併設
- 中学生の職場体験への協力

★子育て支援メニューを拡充

- 育児のための短時間勤務制度
- 小学校就学前の子を養育する社員は、申告により所定労働時間を6時間又は7時間に変更可。
- 年2回の従業員の感謝イベント等で子どもの参加イベントを実施

★過去3年間における各制度の利用者数

- 育児短時間勤務制度の利用者数
3人(取得率67%)

〈活躍する女性社員からのメッセージ〉



女性メカニック 吉井 詩季さん

子育ては未経験ですが、今まで男性だけの仕事と理解されていた整備士の「仕事」を当社では、女性でもやればできると認めて頂いていますので、これからも整備士として頑張っていきます。

〈育児休業取得した女性社員からのメッセージ〉



女性フロント 長岡 理華さん

二人目の子どもの時に、育児休業を取らせていただきました。復帰する時にいろいろな不安があったのですが、男女とも子育て中のスタッフが多く働いているので、大変さを共有でき、急な用事で休みを頂いたりと思われた環境で働いています。

厚生労働省のサイトを活用しましょう！

～働く上で知っておきたい法律や、先進企業の情報が入手できます～

◆ポジティブ・アクション情報ポータルサイト

<http://www.positiveaction.jp/pa/index.php>

⇒女性の活躍推進に取り組んでいる全国の企業を検索

◆両立支援総合サイト「両立支援のひろば」

<http://www.ryouritsu.jp/index.html>

⇒仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる全国の企業を検索

ポジティブ・アクション 応援サイト

このサイトでは、企業のポジティブ・アクション(女性の活躍推進)の取組を応援するため、全国の様々な企業が実際に取り組んでいる事例を業種や規模別に実名で紹介しています

ご利用ガイド ① 企業検索の方法 ② 掲載方法

女子学生の方へ 必見

女性の活躍推進に取り組んでいる企業各社の具体的な情報がわかります。女性トップの役職、課長相当職に占める女性の割合、正社員に占める女性の割合、平均勤続年数の男女差など各企業の詳細情報を見ることができます。

両立支援総合サイト
両立支援のひろば

お役立ち情報 ① 働く方々へ ② 事業者の方々へ

Q&A集

- 働く方々へ
 - > 育児休業をとりたい!
 - > 育児のため、短時間勤務をしたい場合
- 事業者の方々へ
 - > 女性従業員に赤ちゃんができた(妊娠した)場合
 - > 「くるみん(次世代認定マーク)」を取得する場合

介護福祉業界の職場風土改善をめざし

安心して定年まで働き続けることができる職場づくりを進めています

会社概要

設立年月日:1995年10月

本社所在地:茨城県石岡市小倉442-1

事業内容:介護老人福祉施設

従業員数(2013.7.1現在)171名

うち正社員146名(男性53名 女性93名)

平均勤続年数(正社員):男性6.2年 女性6.9年

HPアドレス:<http://www.taijinkai.or.jp>

受賞・認定等

2009年度 茨城県ハーモニー功労賞

2011年度 茨城県子育て応援企業(優秀賞)

2011年 「くるみん」認定

2013年度 均等・両立推進企業表彰(ファミリー・フレンドリー企業部門)茨城労働局長優良賞



職員の満足が利用者の満足に 魅力ある職場づくりをめざして

★職場風土改革の取り組み

福祉業界では、女性が、結婚・出産などの理由で退職する者が多いという実態を改善するため、事業所内託児所を設置した他、各種休暇制度の整備などの職場風土改革の取り組みを進めています。

★休暇を取得しやすい職場づくり、年次有給 休暇の取得は1人当たり年平均14.5日

特別養護老人ホームでは、365日、24時間体制の勤務となります。子を持つ職員だけでなく全職員が休暇をとりやすくするため、「休暇をとってもよい」という意識づけ、仕事の効率化、利用者の生活に合わせたシフトの改善などに取り組みました。その結果、計画的に休暇を取得するようになりました

子育てにやさしい企業をめざして

★県内中小企業初の「くるみん」認定を取得

全職員を対象にアンケート調査を実施し、「こんな制度があったら」など職員の意見を反映させた目標を定めて次世代育成支援に取り組み、2011年に認定を受けました。

★様々な子育て支援制度を整備

- 事業所内託児所(2003年に開設)
- 子育て支援休暇(中学校3年生までの子どもの学校行事等への参加のための休暇)
- パパ・ママ教室参加のための特別有給休暇
- 法定を上回る育児短時間勤務(1日6時間勤務を子どもが小学校3年生まで)
- 法定を上回る看護休暇(子どもが小学校6年生まで)

★女性の育児休業取得率100%(過去3年間の 取得は6名)、男性の育児休業取得実績は4 名

男性の管理職が率先して育児休業を取得したことで、男性の取得が続いています。

〈育児休業後、事業所内託児所を利用している男性社員〉



介護主任 國谷 直城さん

介護主任という立場から、育児休業取得に抵抗がありましたが、上司や同僚のアドバイスもあり取得に至りました。育児休業を取得してみると、子供と過ごす時間や家事の分担など、とても充実した日々を過ごす事が出来ました。

育児休業後は、取得できる環境を作ってくれた法人・スタッフに感謝と同時に、取得して良かったとの安堵感がありました。今後は託児所を利用し、夫婦共々子育てと仕事を両立し、これから利用する職員の見本となれたらと思っています。

〈育児短時間勤務を利用している女性社員〉



鈴木 由香さん

6年前に長男を去年次男を出産しました。長男出産時にも子育て支援制度を利用しましたが、現在は更に充実しており、制度の有効活用と家族の協力により育児と仕事を両立しています。日中は同居の祖父祖母がみてくれておりますが、育児短時間勤務を利用することで、祖父母の負担を減らし、子供と関わる時間もとれ、ストレスなく仕事・育児をしています。制度の充実、上司や同僚の理解もあり、無理なく仕事に取り組みます。経験をしてみて子育て支援制度の有難みを感じています。

公益財団法人筑波メディカルセンター

代表理事 中田 義隆

お子様を持つ職員が、仕事を続けていける環境づくりを目指しています！

会社概要

設立年月日：1982年
本社所在地：つくば市天久保一丁目3番地の1
事業内容：医療機関
従業員数(2013.7.1現在)：1,300名
うち正社員1,130名(男性220名、女性910名)

平均勤続年数(正社員)：男性10.3年 女性8.2年
HPアドレス：<http://www.tmch.or.jp/>

受賞・認定等

2012年 茨城県子育て応援企業表彰(奨励賞)

子育てにやさしい企業をめざして

★子育て家庭を応援

- 小中高生を対象とした職場体験受入
- 駐車場の優先利用、授乳室、多目的トイレの設置
- 食育に関する公開講座等の開催

★子育て支援メニューを拡充

- 3歳まで利用できる短時間勤務制度
- 充実した事業所内保育園(24時間)の設置及び事業所内児童クラブ、病児病後児保育室の併設
- 「職員家族の参観日」(職員の家族の職場見学会(年2回)開催)

★過去3年間における各制度の利用者数

- 育児休業制度の利用者数 女性138人(取得率97.9%)、男性2人(2013年取得)
- 3歳まで利用できる育児短時間勤務制度の利用者数 57人(取得率14.3%)

〈ご夫婦で育児休業を取得した看護師からのメッセージ〉



看護師 緩和ケア病棟 相川 ちひろさん

育児の大変さを共有したいと、当院で同じ看護師として働く主人と一緒に育児休業を取得。私が1年、主人が2か月です。主人も「大変だったけれど、取得してよかった」と言っています。離乳食やミルクを与える間隔もわかるようになり、私が仕事で主人が休みの時でも、安心して任せられます。仕事と子育ての両立は大変ですが、当院は必ず預けられる保育施設などのサポートがあって安心。これまでICU、緩和ケアなどを経験しましたが、これからもキャリアを積んでオールマイティな看護師を目指したいと思います。

〈短時間勤務制度利用中の管理栄養士からのメッセージ〉



管理栄養士 栄養管理科 福満 祐子さん

1年の育児休業を取り、職場に復帰して半年。現在は、短時間勤務制度を利用して6時間の勤務をしています。休業前と比べると、家庭生活のために「この時間に帰れるように仕事をしよう」と、限られた時間を効率よく使うように心がけています。短時間勤務中でも会議や勉強会には出る必要があり、夜間まで見てくれる保育園や子どもが病気の時に利用できる病児保育も助かります。当院は子育て支援制度が充実しており、復帰後も安心して働ける職場です。そんな観点からも入職先を選んでもらえると思います。

フェンネル保育園

施設長 加藤 秀一

「働くママの強い味方」をコンセプトに保育サービスのご提供をさせていただきます！

会社概要

設立年月日：2006年
本社所在地：水戸市姫子1丁目813番地22
事業内容：保育事業
従業員数(2013.7.1現在)：7名
うち正社員4名(女性4名)

平均勤続年数(正社員)：女性4年

HPアドレス：<http://www.dearkids.jp/>

受賞・認定等

2012年 茨城県子育て応援企業表彰(優秀賞)

子育てにやさしい企業をめざして

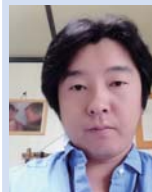
★子育て支援メニューを拡充

- 小学6年生までを対象とした育児短時間勤務制度、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ、所定外労働の免除
- 子どもに関わるすべての活動に休暇を付与
- 従業員の子どもの職場参観や体験

★過去3年間における各制度の利用者数

- 育児短時間勤務の利用者数 3名(取得率37.5%)
- 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げの利用者数 7名(取得率70%)
- 子どもに関わるすべての活動に休暇を付与利用者数 6名

〈施設長からのメッセージ〉



施設長 加藤 秀一さん

自ら育児をしながら保育業務に従事する職員は、仕事と育児を両立されている保護者様がもつ苦労や悩みに深く共感ができ、どのような保育を親としては望まれているのかを意識して仕事に取組める、とても優秀な保育者になりえる存在です。当園では、家庭をもたれている方や子育て中の方が働きやすい職場を目指し、内外において「働くママの強い味方」であり続けたいと考えております。

〈育児中の女性社員からのメッセージ〉



副主任保育士 柳林 佐知さん

子どもたちの素直な心や豊かな感性にふれ、成長する姿を見守ることができる魅力ある仕事です。私自身も子育てをする親ですが、親の視点から子育てでの苦労や悩みが理解でき、またそれを活かせる仕事であり職場でもあります。同僚の中にも育児中の職員がおり、勤務時間帯なども考慮してくれるとても働きやすい職場です。

職場を支える事業所内託児施設「くれよんハウス」が大活躍

会社概要

設立年月日: 1987年4月1日
本社所在地: 茨城県筑西市小埜861
事業内容: 障害者支援施設
従業員数: 86人(2013.8.1現在)
(男性34人 女性52人)
HPアドレス: <http://seihoukai.org/pia>

受賞・認定等

2012年度 茨城県ハーモニー功労賞



女性がいきいきと働ける 職場づくりをめざして

★女性管理職の増加

管理職に占める女性の割合が 5 割
(5 名 理事長、支援部長等)

★出産や育児のために退職した女性の再雇用

出産・育児を理由に希望退職し、その後再び
就職を希望した女性の再雇用実績 3 名



〈理事長からのメッセージ〉



理事長 渡辺 早苗さん

当法人は、性別にかわりなく個性と能力を十分に発揮できる職場づくりを目指しています。出産や育児で離職を余儀なくされる女性の立場に立って、育児休業を推進し、職場復帰後も慣れた環境で子どもと一緒に働けるよう事業所内託児施設も設置しています。男性の育児休業も促進し、育児の大変さ、大切さを実感してもらい、思いやることのできる職場人を期待しています。また、再雇用制度も導入し、戻ってこられる環境を整えております。

子育てにやさしい企業をめざして

★事業所内託児施設「くれよんハウス」

平成 16 年に開設。職員は一般的な保育所より割安な保育料で利用可能です。

★育児休業後の職場復帰や短時間勤務、子の看護休暇の取得が定着

- 平成 19 年以降毎年、育児休業後の職場復帰率は 100%です。
- 育児短時間勤務制度や子の看護休暇の取得実績が増加しています。

★男性の育児休業制度の利用実績

これまでに 6 名の男性職員が育児休業取得しています。

★計画的有給休暇を全職員に付与

年次有給休暇取得率アップのために計画的有給休暇 7 日間を全職員に付与しています。

〈育児休業を取得した男性職員からのメッセージ〉



生活支援員 石井 祥平さん

1 週間の育児休業を取得させていただきました。普段から育児に参加していたつもりでしたが、いざ育児してみると 2 歳になる長男と 6 ヶ月になる長女を同時にみることは想像よりも大変で、改めて育児の大変さと普段一人で行っている妻に対して感謝の気持ちが湧いてきました。この 1 週間、育児をすることで自分自身の育児に対する思いも変わり家族の絆も深まったように感じます。職場の皆様のご協力により貴重な 1 週間を過ごすことができました。

医療法人保内郷厚生会 保内郷メディカルクリニック

理事長 櫻山 拓雄

病児・病後児保育室「ひまわり」への取組で地域の子育てにも貢献

会社概要

設立年月日:1953年

本社所在地:茨城県久慈郡大子町大子824

事業内容:有床診療所

従業員数:59人(2013.8.1現在)
(男性15人 女性44人)

HPアドレス:<http://www.honaigo.main.jp>

受賞・認定等

2010年度 茨城県ハーモニー功労賞



女性がいきいきと働ける 職場づくりをめざして

★子どもが病気の時にも預けられる病児・病後児保育室「ひまわり」

平成19年、男女共同参画について学んだ看護師が中心となり、クリニック内に、病児・病後児保育室「ひまわり」を開設しました。

★育児と仕事の両立で女性が活躍

クリニックの女性スタッフも病児保育室が利用できることで、子どもが病気の時でも安心して仕事に専念できる。出産や育児を理由に仕事を辞めることなく、育児と仕事を両立しています。



〈子育て中の看護師からのメッセージ〉



外来主任看護師
福田 祥江さん

ナースになって17年、そのうち11年は現在の職場に勤務しています。その間に子供にも恵まれ、4～14歳の3人の子供がいます。

我が家は核家族で、近くに実家があるものの、両親も仕事をしています。そんな私が仕事と育児の両立ができてい

るのも、アットホームな職場環境と病児・病後児保育室の存在が大きいと思っています。子供達も病児・病後児保育室が大好きです。ママ友にも好評です。

子育てにやさしいクリニックを めざして

★病児・病後児保育室「ひまわり」は地域にも貢献

保育室は安価で地域住民も利用することができ、地域の子育て家庭からなくてはならない存在として頼られ喜ばれています。

★役員やスタッフ自らが子育てしやすい環境づくりに問題意識を持って取り組む

理事やスタッフが男女共同参画の勉強会などに積極的に参加しています。他社の取組などの情報も得ながら新しいアイデアを模索し、子育てにやさしいクリニックづくりを行っています。

〈病児保育担当からのメッセージ〉



病児保育担当
菊池 真智子さん

体調不良の時に、お父さんやお母さんと離れて不安と心配の中、病児・病後児保育室「ひまわり」に来てくださるお子様たちの気持ちに答えられるように、誠心誠意、心を込めて接しています。

有床診療所内の保育室なので、すぐ近くに医師・看護師もいますので、他業種との連携もとっています。

お預かりしたお子様達が、お迎えの時に笑顔で帰れることを願って、日々務めています。

地域経済の成長と地域の活性化のため、力強い存在感を持った銀行を目指し、働きがいのある職場の形成と活力ある人材の育成に取り組みます。

会社概要

設立年月日:1952年9月

本店所在地:茨城県土浦市中央2丁目11番7号

事業内容:普通銀行業

従業員数(2013.7.1現在):2,722名

うち正社員1,840名(男性1,287名 女性553名)

平均勤続年数(正社員):男性 18年 女性 12年

HPアドレス:http://www.tsukubabank.co.jp

受賞・認定等

2008年度 茨城県子育て応援企業表彰(優秀賞)

2009年 「くるみん」認定



男女が共に働きやすい職場づくり

★適材適所の人員配置と人材活用

行員が持てる能力を十分に発揮でき、多様な働き方に対応するために、「総合職」と「一般職」に分けたコース別人事制度を設けています。

★女性の活躍機会拡大のためのワーキンググループを発足

女性の職域や活躍機会を拡大させるため、働きやすい環境づくりを目的としたワーキンググループを2013年に発足。管理職者、事務担当者、営業担当者、個人ローン担当者、本部勤務者など、様々な立場・担当の女性が集まり、当行をより良くするため以下の取組みを話し合っています。

【女性の職域拡大】

生活スタイルを大きく変えずに上位職者を目指すことが可能な働き方について

【制度の活用】

女性が働く上で活用できる制度についての情報提供や利用促進。また、利用しやすい環境づくりについて

〈女性管理職からのメッセージ〉



竜ヶ崎ニュータウン
出張所長
武子 貴美子さん

私は出張所長として店を運営するうえで「気配り・目配り・心配り」をコンセプトにし、女性ならではの感性を活かして自ら考え行動しています。そして、公正に評価されることがとても大きなやりがいです。部下に対しても、①期待する姿(ビジョン)を示し、②その目的や背景を明確にし、③公正な評価(フィードバック)をすることを心掛けています。今後もお客様に「足を運びたいと感じて貰えるような」店舗づくりを行っていきたくと思います。

子育てにやさしい企業をめざして

★女性の育児休業取得率は100% 男性の育児休業は8名(2013年7月現在)

女性の育児休業取得は年間で20~30名、育児短時間勤務のこれまでの利用は28名などの成果を上げています。2009年には「くるみん」認定を受けました。

★様々な子育て支援制度を整備

- 男性の育児参加促進のため、育児休業開始後の5日間は有給としています。
- 男性社員を対象とした「配偶者出産時特別休暇」を導入(取得率は63%)
- 出産祝い金として、3人目以降は20万円の「次世代育成支援手当」を支給
- 「再雇用制度」「時差勤務制度」「子ども参観日の実施」など

★育児休業後の復職に向けたサポート

- ・仕事と子育てに関する相談窓口の設置、休業中の情報提供、育児休業からの復職時に職場復帰直前講習を実施

〈育児休業制度・男性利用者からのメッセージ〉



谷田部支店
根本 嘉文さん

私は第二子(長女)が7ヶ月の時に、5日間の育児休業制度を利用しました。長男誕生後、日々の仕事に励む中、育児は土日の休み以外、専業主婦である妻に任せきりで、子どもの成長も当たり前になっていました。今回の育児休業は子どもと向き合う良い機会となり、何気ない会話でも、仕事をしている生活では知り得ない成長が感じられ、幸せな時間を過ごすことができました。「仕事と家庭」の両立や男性の育児参加促進という観点からも、是非、他の男性行員の方にも育児休業制度を積極的に利用して頂きたいと思っています。

「地域とともに成長するベストパートナーバンク」の原動力は人材です
女性が活躍できる職場づくりに積極的に取り組んでいます

会社概要

設立年月日:1935年7月
本社所在地:茨城県水戸市南町2-5-5
事業内容:金融業
従業員数(2013.7.1現在):5,683名
うち正社員 3,856名(男性2,340名 女性1,516名)
平均勤続年数(正社員):男性20年 女性13年
HPアドレス:<http://www.joyobank.co.jp>

受賞・認定等

2010年 「くるみん」認定
2012年 男女共同参画社会づくり功労賞(水戸市)



女性が活躍しやすい職場づくり

★キャリア形成意欲の変化等に合わせたコース(働き方)を選択できる

仕事内容や転勤の範囲等によりコース区分を3つ(総合職・特定総合職・一般職)に分けています。コースは固定ではなく、選考基準を満たせば、コース間の転換も認めており、キャリア形成意欲やライフスタイルの変化に合わせた働き方を選択できます。

★営業の分野に女性を積極的に配置

女性を営業域へ積極的に配置しており、女性の営業担当者が5年間で158名増加しました。
○平成19年度末315名、24年度末473名

★女性の管理職登用

意欲と能力を有する女性を積極的に管理職に登用しており、女性の管理職が5年間で59名増加しました。
○平成19年度末180名、24年度末239名
○女性トップの管理職 支店長

〈採用担当者からのメッセージ〉



係長 池澤 崇文さん

常陽銀行には毎年100名を超える女性の方が、高い志を持って入行しています。銀行は男性の職場とお考えの方が多いと思いますが、実はパートタイマー等を含めると勤務している従業員の半数以上は女性です。女性行員が担当する業務範囲は窓口業務を中心とした事務のみに留まらず、融資業務や渉外業務など営業面も含めて多岐に亘っており、その細やかな感性や気配りを活かし、様々な部署で多くの女性行員が活躍しています。

子育てにやさしい企業をめざして

★くるみん認定企業として

育児休業や子の看護休暇の利用期間の延長、男性の育児休業取得促進に取り組み、2010年にくるみん認定を受けました。認定企業としてさらに制度面の充実を図っています。

★子どもが2歳に達するまでの育児休業、小学校就学前までの育児短時間勤務を整備

従業員のニーズを踏まえ、育児休業や育児短時間勤務の取得可能期間を法律を上回る内容に拡大し、より利用し易い制度としました。

- 女性の育児休業取得率は100%
(過去3年間で年平均35名、337日取得)
- 育児短時間勤務制度は制度導入から3年間で18名が取得

★男性の育児休業取得は18名

育児休業期間の一定期間を有給としたことで男性の育児休業取得者が増えました。
・平成24年度末までの取得者18名

〈女性総合職からのメッセージ〉



主任調査役 櫻村 寛世さん

私は入行当初、営業店で事務を担当しました。その後、渉外業務や本部業務を経験し、現在はお客様サービス部で「お客様満足の向上」に関する業務を担当しています。このように常陽銀行では男女の区別なく、様々な業務を担当することができます。キャリアプランの変化に合わせてコースを変更できる「コース転換制度」を活用し、管理職として活躍している方も非常に多く、長く勤務したい方にはとても良い環境が整っています。

独立行政法人日本原子力研究開発機構

理事長 松浦 祥次郎

我が国唯一の総合的原子力研究開発機関として研究開発を推進していくため、
多様な人材の活用、仕事と生活の両立ができる職場環境づくりに取り組んでいます

法人概要

設立年月日：2005年10月
本社所在地：茨城県那珂郡東海村松4-49
事業内容：原子力研究開発
従業員数(2013.7.1現在)：4,602名
うち正社員3,822名(男性3,567名 女性255名)
平均勤続年数(正社員)：男性21年 女性11年
HPアドレス：<http://www.jaea.go.jp/index.html>

受賞・認定等

2010年 「くるみん」認定
2010年 茨城県子育て応援企業表彰(奨励賞)



男女共同参画推進の実現のために

男女共同参画社会の形成促進に寄与するとともに、多様な人材の確保と更なる活用のため、また、男女ともに仕事と生活の両立ができる働きやすい職場環境を作るため「男女共同参画推進目標」を策定しています。

★女性職員の採用促進

理工系女子学生の採用促進のため、研究職・技術職の女性採用比率13%以上を目指しています。(2013年4月採用の女性比率17.6%)

- ・女子学生を対象とした採用説明会の開催(現役の女性職員による業務紹介、質疑応答等)
- ・女子学生を対象とした施設見学会の実施
- ・女性職員の活躍状況を機構HPにて紹介

★女性職員のキャリア形成

女性職員の活用にかかる理解促進、女性職員の自律的なキャリア形成力向上への取組みを実施しています。

- ・キャリア形成のための「メンター制度」
- ・女性管理職育成のためのパワーアップ研修等

★男女共同参画に関する理解促進

様々な講演会、研修等を通じて、男女共同参画推進やワークライフバランスに対する理解促進を図っています。

●詳細は採用情報HPにも掲載しています。

<http://www.jaea.go.jp/saiyou/>

子育てにやさしい企業をめざして

★2010年に「くるみん」認定を取得しました

育児に参加しやすい環境の整備、年次休暇の取得促進、男性の育児参加の促進、所定外労働(残業)の削減に取り組み、2010年「くるみん」認定を受けました。

★育児支援のための制度を紹介します

- 育児休業制度
子どもが3歳に達するまで利用可能
- 子どもが小学校に入学する前までの制度
・所定外労働の免除
・所定労働時間の短縮措置(部分休業)
- 子どもが中学校に入学する前までの制度
・早出遅出勤務制度
・所定外労働の制限
- 男性職員のための休暇
・配偶者の出産に伴う休暇、育児参加休暇

★育児支援制度が利用しやすい職場を目指しています

- 育児休業制度利用者数
女性：47名(取得率100%)(過去3年間)
男性：5名

★ワークライフバランスの実現を推進しています

- 定時退勤日の運用等による所定外労働の削減
- 年次休暇の取得促進

〈女性管理職からのメッセージ〉



核融合研究開発部門
NB加熱開発Gr
研究副主幹
柏木 美恵子さん

私は、将来のエネルギー、核融合発電に必要なプラズマ加熱用のビーム発生装置の開発研究に従事しています。那珂核融合研究所では私が最初の女性研究員で、その後徐々に増えてきています。結婚後の旧姓使用、出産時の産休・育休、その後は部分休業、時間休など必要に応じて職場の制度を活用し子育てと仕事の両立を図ってきました。男性からも、もっと子育てに参加したいという声も聞きます。そのために更に働きやすい職場となる施策を男女共同参画推進委員会等に提案していきたいと思っています。

〈育児中の男性からのメッセージ〉



広報部 情報公開課
横尾 一哉さん

私は、早出遅出勤務制度を利用しているイクメンです。

育児支援制度を利用する男性(イクメン)は社会的に少ないのが現状ですが、子供の成長を見守りたい男性も多いと思います。

当機構は、多種多様な生活スタイルに合わせて仕事ができるよう制度が充実しており、男性でも利用しやすい職場環境にあります。男子学生の皆さんも、将来、育児と仕事を両立することも考えて、制度の充実や職場環境なども考慮しながら就活することをお勧めします。

多様な価値観・ライフスタイルを持っている職員一人一人が、
仕事や家庭の生活全体を充実させるための取組を進めます

法人概要

設立年月日:2001年4月
本社所在地:茨城県つくば市千現1-2-1
事業内容:物質・材料科学技術に関する研究開発
従業員数(2013.7.1現在):1537名
うち正社員547名(男性488名 女性59名)
平均勤続年数(正社員):男性15年 女性10年
HPアドレス:http://www.nims.go.jp

受賞・認定等

2009年 「くるみん」認定



男女共同参画社会の実現に向けて

★女性の能力を活用する職場づくり、女性職員の積極的採用・登用

2011年12月から、第2次男女共同参画グランドデザインを策定し、目標値を定めて女性の積極的採用と登用に取り組んでいます。

- 女性研究者(ポストドク等を含む)の採用
目標 25% 2012年度実績 約22%
- 女性職員の管理職割合
目標 10% 2012年度実績 約7%

★男女共同参画に関する啓蒙、周知等

男女共同参画に関して、セミナーの開催、相談窓口の設置、ポスターの掲示などの様々な取組を進めています。

★働き方の改革

裁量労働制やフレックスタイム制、部分在宅勤務制度などの勤務時間、ノー残業デーの設定、夏季休暇取得奨励日の設定、コアタイム(会議等を設定する時間帯)の設置などを進めています。

〈女性管理職からのメッセージ〉



先進高温材料ユニット構造
機能融合材料グループ
グループリーダー
御手洗 容子さん

私の研究グループでは、ジェットエンジンや火力発電所等、高温で使われる金属材料の開発を行っており、大学から卒業研究やインターンシップなどで来ている学生も含めて18人ほどのグループ運営をしています。

私には小中の子供が2人おり、保育園の送り迎えからは解放されたものの、毎朝の弁当作り、土日の部活、塾等まだまだ子供のために多くの時間を費やしています。しかし、新しい材料を開発する研究はとても楽しく、また、子供との時間もすばらしく、忙しいながら毎日充実した生活を送っています。

子育てにやさしい企業をめざして

★2009年に「くるみん」認定を取得

育児休業や各種休暇の取得促進、育児支援制度の拡充、男性の育児休業者2名などの目標を達成し、2009年に「くるみん」認定を受けました。

★子どもが3歳に達するまでの育児休業、その他各種支援制度

- 子どもが小学校就学前までの育児短時間勤務(希望する時間帯)、3歳に達するまでの部分休業(1日2時間まで)
- 妻の入院時の未就学児の子どもの世話休暇(出産予定6週前から出産後8週までの5日間)
- 法定を上回る看護休暇(中学校就学前まで)

★育児・介護中職員支援制度

保育園の送り迎え、子どもの病気、家族の介護などにより仕事に支障をきたす場合が多い育児・介護中の職員の仕事をサポートする業務員を配置。残業ができなくても仕事をこなすことが可能です。

〈女性の育児休業者からのメッセージ〉



総務部門総務部総務課
専門職 古谷 知美さん

私は平成20年2月から約5年間、長男と次男の育児休業を頂きました。長期の育児は子供達の成長を身近で日々見ることができ、目の離せない時期を心配しながらでも、自分で見られたことはとてもうれしい事だと思いました。

長男の幼稚園ではPTA活動に参加でき、仕事とはまた違う充実感と達成感を子供と一緒に味わうことができました。今夏から育児短時間勤務での仕事復帰をしています。どちらの制度も助かりました。ありがとうございました。

アステラスリサーチテクノロジー株式会社

代表取締役社長 三宅 宏

「女性の活躍」を考えることを出発点に

男性も女性も、互いを認め合い、高め合える職場を実現します

会社概要

設立年月日：1996年4月

所在地：茨城県つくば市御幸が丘21

事業内容：アステラス製薬の新薬創出事業への支援業務

従業員数(2013.7.1現在)：267名

(男性152名 女性115名)

HPアドレス：<http://www.astellas.com/jp/art/>

受賞・認定等

2013年 「くるみん」認定



女性の活躍促進のために

★女性比率は4割、女性社員が活躍

社員に占める女性比率は全体の4割と、多数の女性社員が活躍しています。男女とも新卒を採用しています。

- ・2012年採用 男性3名、女性1名
- ・2013年採用 女性1名

★女性の管理職登用

男女問わず「基本要件」を満たせば、管理職に登用されます。ここ数年では男女ほぼ同数の管理職が誕生しています。

★働きやすい職場づくり

育児関連制度はかなり充実しており、社員一人ひとりの都合に応じて労働時間帯や就労形態が選択できるなどの柔軟性もあります。また、その制度を社員が利用しやすくするための職場風土の醸成にも積極的に取り組んでいます。

今後も社員が仕事と生活の調和を図り、いきいきと働き続ける事ができる職場環境作りを推進していきます。

子育てにやさしい企業をめざして

★2013年に「くるみん」認定を取得、パパ・ママによるランチミーティングが好評

育児関連制度の周知や、社内の育児経験者によるパパ・ママランチミーティングを定期的で開催することなどに取り組み、「くるみん」認定を受けました。

★子どもが3歳までの育児休業、その他子育て支援制度の整備

- 小学校3年生までの育児短時間勤務(1日6時間または7時間)と所定外労働の免除
- 小学校3年生までの一時的託児所・保育所・シッター利用への保育料補助
- 看護休暇(小学校以上を含む)
- 男性の育児休暇(出生2週間前から出生後8週間の期間に5日取得できる)

★育児関連制度の利用が定着、女性の育児休業取得率は100%

- 過去3年間の女性の育児休業取得者 14名
- 男性の育児関連制度の利用(過去2年間)
 - ・育児短時間勤務1名、看護休暇16名
 - ・育児休業10名

女性管理職として活躍中!



主管研究員
船津 由起子さん

私が所属する薬理研究部では社員の約半数(10名)は女性、内6名はワーキングマザーです。仕事も育児も男女共に活躍する時代と実感します。二児の母である私自身も様々な制度を利用して乗り切ってきました。数年前、主人の海外赴任に伴い退職しましたが、再雇用登録制度を利用して復職することができました。仕事と家庭の両立を可能にしてくれる様々な制度と働きやすい職場環境に感謝しつつ、今後も多くの女性が活躍することを期待しています。

私が所属する薬理研究部では社員の約半数(10名)は女性、内6名はワーキングマザーです。仕事も育児も男女共に活躍する時代と実感します。二児の母である私自身も様々な制度を利用して乗り切ってきました。数年前、主人の海外赴任に伴い退職しましたが、再雇用登録制度を利用して復職することができました。仕事と家庭の両立を可能にしてくれる様々な制度と働きやすい職場環境に感謝しつつ、今後も多くの女性が活躍することを期待しています。

妻の入院により一歳の子供の育児(短時間勤務を取得!)



主任研究員
高木 宇一郎さん

私が働く代謝研究部では8:45～17:45までが就業時間となります。ただ、この就業時間では保育園の送り迎えに間に合いません。そこで、9:00～17:00となる1時間の短時間勤務を取得しました。申請するまで知りませんでした。出勤を遅らすことも、帰宅を早くすることもできます。独身のときは当然分かりませんでしたが、子育て支援の充実、女性だけでなく男性も仕事と生活を両立する上でとても大事なことだと考えさせられました。

私が働く代謝研究部では8:45～17:45までが就業時間となります。ただ、この就業時間では保育園の送り迎えに間に合いません。そこで、9:00～17:00となる1時間の短時間勤務を取得しました。申請するまで知りませんでした。出勤を遅らすことも、帰宅を早くすることもできます。独身のときは当然分かりませんでしたが、子育て支援の充実、女性だけでなく男性も仕事と生活を両立する上でとても大事なことだと考えさせられました。

有限会社ワールド翻訳サービス

取締役 柳澤 奈津子

「働きやすさは自分でつくる」女性起業家が自らつくった働きやすい環境

会社概要

設立年月日:2002年8月
本社所在地:茨城県牛久市ひたち野西3-12-2
オリオンピアA-5
事業内容:翻訳請負業
従業員数(2013.9.1現在):5人
(男性1人 女性4人)
HPアドレス:http://www.worldts.com

受賞・認定等

2012年度 茨城県ハーモニー功労賞



男女ともいきいきと 働き続けられる会社づくり

★女性起業家自らがつくった働きやすさ

「大好きな翻訳の仕事を子どもを産んでも続けたい」という社長自身の想いから起業し、働き続けやすい会社を自らつくり上げた会社です。

★長く働き続けてほしいという願い

翻訳コーディネーターは高度なスキルが求められ、その修得に時間がかかるため、男女にかかわらず、社員にはできるだけ長く働き続けて培ったスキルを活かしてほしいと考えています。

★多様な働き方が可能

勤務時間の短縮や時差出勤、在宅勤務など男女とも本人の事情に応じて多様な働き方が可能で無理なく働き続けられるよう対応しています。

★社員同士での協力体制

子どもの発熱や保育園からの呼び出しで、急に休まなければならない場合、遅刻・早退しなければならない場合にも、「お互いさま」という雰囲気があり、皆が協力的です。自分が休んだときにほかの同僚ががんばってくれるので、ほかの同僚が休んだときには気持ちよくサポートしてあげられる、というよい循環になっています。

〈取締役からのメッセージ〉



取締役 柳澤 奈津子さん

私は、翻訳コーディネーターという仕事が好きだったので、結婚し、子供が生まれた後もこの仕事を続けたいという気持ちから起業しました。仕事を続けながらの出産・育児は確かに体力的・時間的に大変なこともあります(特に子供が病気になったときなど)、仕事だけ、育児だけ、という二者択一ではなく、好きな仕事もできて、なおかつ一番かわいい時期の子どもたちと関わることができるのはとてもありがたいことだと思っています。

妊娠中や子育て中も安心 柔軟で多様な働き方が可能

★小さな事業所ならではの柔軟な対応

妊娠や子育て中の社員に、短時間勤務や時差出勤、在宅勤務などの対応をしているほか、家族の転勤に伴い海外にいる社員も、在宅勤務のかたちで仕事を続けるなど、小さな事業所ならではの柔軟で多様な働き方を認めています。

★妊娠中も安心して働ける

つわり等で体調の悪い社員が優先的に有給休暇が取得できるよう社員の協力を得ながら対応しているほか、職場においても休めるスペースを用意し妊娠中の職場環境も整備しています。

★積極的な協力もしています

妊娠中は定期健診だけでなく、マタニティーヨガのクラスへ参加したい、といった要望にも応えてきました。上手に有給休暇を活用し、よい状態で出産日を迎えられるよう、会社としても積極的に協力しています。

★子連れ出勤も

子どもの熱がまだ下がらないけれど、どうしても仕事が忙しいというときなどは、子連れで出勤することも認めています。会社に必要な資料を取りに来たり、最低限対応しなければならない仕事に取り組む間、ほかの社員がその子の相手をすることもあります。

Youtubeでアニメを見せたり、遊び相手になったり、お互いに協力し合っています。

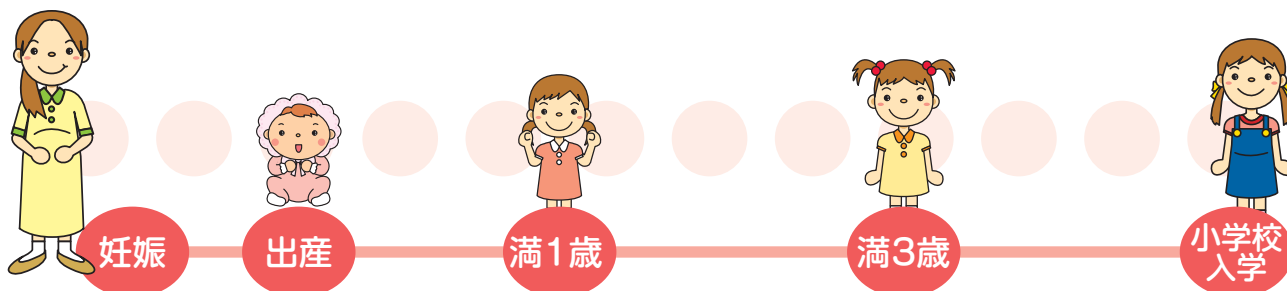
〈育児休業中の社員からのメッセージ〉



木田 華穂里さん

2012年秋より出産のため休暇を取得させていただき、現在は育児休業中です。入社当初から周囲の先輩はみな子育て中という非常に恵まれた環境のもと、数年間はコーディネーターとしての業務に奔走する日々でした。まもなく職場復帰を予定しており、育児と仕事を同時に続けられるのだろうかと不安な気持ちも少しありますが、身近にモデルとなる先輩が多くいることがとても心強いです。仕事と家庭の良いバランスを、手探りしていきたいと思っています。

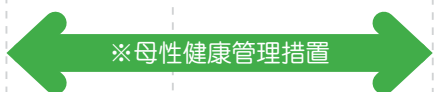
○妊娠・出産・育児に関する制度



※ 産前休暇 (6週)

※ 産後休暇 (8週)

※ 育児時間



※女性労働者のみ対象

母性健康管理措置とは

- 妊娠中及び産後1年以内は、時間外労働、休日労働、深夜業の免除、軽易業務転換を請求できます。
- 妊娠中は健康診査のための時間が必要な場合は請求できます。また、医師から指導を受けた場合は、勤務時間の短縮、休業等の措置を講じるよう申し出ることができます。

育児休業

①子どもの満1歳の誕生日の前日まで

② 1歳2か月まで

③ 1歳6か月まで

法律で定められている育児休業期間とは

- ①育児休業は原則として、子が1歳に達するまでです。
- ②パパとママの両方がとる場合は、子が1歳2ヶ月までの間で1年間とることができます。パパとママが同時にとることも、交替でとることもできます。
- ③保育所に入れないなど一定の事情がある場合は、子が1歳6か月までとることもできます。

〈育児休業のポイント〉

- 配偶者が専業主婦(夫)でも育児休業を取得できます。
- パパ等が産後8週以内に育児休業を取った場合、特別な理由がなくてももう1回育児休業を取得することができます。
- 育児休業期間の賃金が無給でも、雇用保険から育児休業給付金が受けられます。

男女労働者が利用できます

●育児短時間勤務制度

3歳に満たない子を養育する労働者は、短時間勤務制度(原則1日6時間勤務)を利用できます。

●所定外労働の免除

3歳に満たない子を養育するため、所定外労働(残業)の免除を請求をすることができます。

- ・フレックスタイム制
 - ・始業・終業時間の繰上げ・繰下げ
 - ・事業所内保育施設の設置・運営など
- } 事業主の努力義務

●子の看護休暇

小学校就学前までの子が1人であれば年5日、2人以上であれば年10日まで病気・けがをした子の看護または子に予防接種・健康診断を受けさせるために、休暇が取得できます。

●育児のための時間外労働の制限

小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、時間外労働を1月24時間、1年150時間までとする請求をすることができます。

●育児のための深夜業の制限

小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、深夜(午後10時から午前5時まで)労働の免除を請求をすることができます。

*休業した期間や働かなかった時間についての賃金の取扱いは、会社の定めによります。

法律・制度についての問い合わせ先：茨城労働局雇用均等室 (TEL 029-224-6288)

*育児・介護休業法、女性労働者の母性健康管理等に関する詳しい資料は、厚生労働省ホームページからダウンロードできます。
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/support_01/index.html

○茨城県の事業のご案内

男女共同参画広報誌『ハーモニー広場』

茨城県では、男女共同参画広報誌「ハーモニー広場」を年2回発行しています。起業、地域活動などの様々な分野にチャレンジし、活躍している個人・団体や男女ともに活躍できる職場づくりに取り組んでいる事業所などの情報を紹介しています。バックナンバーは茨城県女性青少年課ホームページでご覧いただけます。<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/danjo/>



男女共同参画出前講座

茨城県では男女共同参画出前講座を行っています。

みなさんの学校や会社など、ご希望の場所、日時に職員がおうかがいし、男女共同参画についてお話をさせていただきます(無料)。学生さん向けの講座や働く人向けの講座など、内容のアレンジも可能です。

男女共同参画について勉強してみたいと思ったら、ぜひご利用ください。

■詳しくは「茨城県女性青少年課」までお気軽にお問い合わせください。

茨城県女性青少年課 男女共同参画担当

電話 029-301-2178

FAX 029-301-2189

E-mail :josei1@pref.ibaraki.lg.jp



将来の仕事を決める際に、
これから多くの方が経験する「結婚」、「出産」、「子育て」についてもぜひ一緒に考えてみませんか？

高校や大学を卒業して、社会人として自分の人生を考えると、みなさんは何を重視しますか？

みなさんは将来の自分を「どんな職業に就こうか」、「職種は何がいいか」、「年収はどのくらいか」など、おもに仕事をする場面でイメージすることが多いのではないのでしょうか？将来の仕事について考えることはとても重要です。

ただ、みなさんの一日に注目してみるとどうでしょう。

「仕事をする時間」は一日のうちで8時間程度です。(残業があるともう少し増えるでしょう。)残りは食事、睡眠などをはじめとする「生活をする時間」です。将来、「生活をする時間」には家事、育児の時間なども含まれるようになりますが、「仕事をする時間」より多い「生活をする時間」。

みなさんの人生において、仕事と同じくらい生活はたいせつなものです。みなさんは生活についてどのような夢や希望を持っていますか。そして、みなさんの仕事と生活の夢や希望はバランスよくかなえることができますか？

高校生・大学生への特別講座を実施します！

茨城県子ども家庭課では、高校生、大学生のみなさんが、今後、仕事と生活をあわせて考えていくことで、人生の選択の幅を広げ、より希望する人生を送れるように応援するための意識啓発事業を実施します。

実施時期：平成25年度中

実施対象：大学2箇所（高校2箇所 計4箇所(予定)

実施内容：(例)特別授業、講演会、対談等

※事業の実施にあたっては、実施箇所のニーズを伺った上で内容を調整します。



県内高校で実施された特別授業の様子(イメージ)



■詳しくは「茨城県子ども家庭課」までお問い合わせください。

茨城県子ども家庭課 少子化対策室

電話 029-301-3261 FAX 029-301-3269

E-mail : jifuku4@pref.ibaraki.lg.jp

○相談窓口のご案内

茨城労働局雇用均等室

〒310-8511

水戸市宮町 1-8-31 茨城労働総合庁舎 6階

TEL:029-224-6288 FAX:029-224-6265

<開庁日・時間> 平日 8:30～17:15



労働局雇用均等室は、各都道府県に置かれた厚生労働省の出先機関です。

募集・採用から定年・退職までの雇用管理における性別による差別、職場でのセクシュハラメント対策、妊娠中及び出産後の女性労働者の健康管理に関する措置、育児・介護休業法、パートタイム労働法に関する相談を受け付けています。

法律に関する疑問や、就職活動中に受けた男女差別については雇用均等室にご相談ください。(相談は無料です)

茨城労働局ホームページ

<http://ibaraki-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

新卒応援ハローワーク・大卒等就職情報WEB提供サービス

●**新卒応援ハローワーク**とは、大学・短大・高専・専修学校などの卒業年次（大学は4年生、短大は2年生など）に在学の方、卒業後3年以内の未就職の方の就職を支援する専門のハローワークです。各都道府県に設置しており、求人情報の提供、各種セミナー、エントリーシート・履歴書の作成相談や面接指導の個別支援など、多彩なメニューを用意して、就職活動をバックアップしています。**利用はすべて無料です。**

また、**大卒等就職情報WEB提供サービス**（ホームページ <http://job.gakusei.go.jp/>）では、学生向けの求人の一部を検索・閲覧したり、新卒応援ハローワークで行う各種イベント・セミナーの情報を入手できます。

○水戸新卒応援ハローワーク 開庁日・時間 平日 8:30～17:15

〒310-8509 水戸市水府町 1573-1 水戸公共職業安定所付属庁舎 1階 TEL029-231-6244

○土浦新卒応援ハローワーク 開庁日・時間 平日 8:30～17:15

〒300-0051 土浦市真鍋 1-18-19 TEL029-822-5124

いばらき就職・生活総合支援センター

茨城県では、いばらき就職・生活総合支援センター及び県内5カ所(県北・日立・鹿行・県南・県西)の地区センターにおいて、就職相談からキャリアカウンセリング、職業紹介まで就職活動に必要なサービスを提供し、総合的な支援を行っています。カウンセリングのほか適性診断や就職支援セミナーなどの支援メニューもございますので、ぜひご利用下さい。

○いばらき就職・生活総合支援センター 月～金 9:00～20:00 土・日 9:00～17:00 ※祝日、年末年始は休業
〒310-0011 水戸市三の丸 1-7-41 TEL 029-300-1916

○各地区就職支援センター 月～金 9:00～16:00 ※土・日、祝日、年末年始は休業

◇県北地区センター

〒313-0013 常陸太田市山下町 4119 (県常陸太田合同庁舎内) TEL 0294-80-3366

◇日立地区センター

〒317-0073 日立市幸町 1-21-2 (日立商工会議所会館内) TEL 0294-27-7172

◇鹿行地区センター

〒311-1593 鉾田市鉾田 1367-3 (県鉾田合同庁舎内) TEL 0291-34-2061

◇県南地区センター

〒300-0051 土浦市真鍋 5-17-26 (県土浦合同庁舎内) TEL 029-825-2822

◇県西地区センター

〒308-8510 筑西市二木成 615 (県筑西合同庁舎内) TEL 0296-23-3811